

# ルース・ベイダー・ ギンズバーグ

RUTH BADER GINSBURG

信念は社会を変えた!

ジェフ・ブラックウェル&ルース・ホプデイ/編 橋本 恵/訳



# R B G 最強の87歳!

1993年からアメリカ合衆国最高裁判事として君臨するRBG。  
その揺るがぬ信念を支えるものとは?

# グレタ・ トゥーンベリ

GRETA THUNBERG

信念は社会を変えた! 6人のインタビュー

ジェフ・ブラックウェル&ルース・ホプデイ/編 橋本 恵/訳



# この強さは、 どこからくるの?

世界を驚かせた若き活動家の素顔に迫る特別インタビュー。



——自己紹介をお願いします。

わたしは、グレタ・トゥーンベリ。十六歳のスウェーデン人です。ストックホルムに住んでいる、気候環境活動家です。

気候と環境に関心を持ち始めたのは、たぶん八歳か九歳のとき、学校の授業でだったと思います。人間が環境に恐ろしい被害を与えてきたことや、気候にとんでもない悪影響を与え続け、気候が変化しつつあることを知りました。ぞっとするような写真を何枚も見て、ただただ震えあがりました。こんな事態を防ぐために、なぜ私たちは、できるかぎりのことをしないのか？なぜこういったことを気にもとめず、今まで通り生活していけるのか、私にはまったく理解できませんでした。

そこで、文献を読んで勉強し始め、いろいろな人と話すことで、ようやくこの危機の重大さを理解しました。そして、このような危機が実際に起きているということを、両親にわかってもらおうとしました。けれどふたりとも、「ううん、大丈夫。きっと誰かが何かしてくれるか

ら」と言うだけで、どちらかというとき否定的でした。

そんなことが続くうち、私は鬱になりました。何もかもがひたすら間違っているように見え、どうでもよくなってしまったのです。

鬱状態から抜け出せたのは、心の中で自分にこう言い聞かせたからです。「私は、いろんなことができる。ひとりでも、いろいろできる。だから、ただ指をくわえて見ているのではなく、事態を変えるために、できるかぎりのことをするべきだ」と。

地球温暖化をとめるために全力を尽くす、と心に誓い、行動に移そうとしました。だから、気候のための学校ストライキを始めたのです。何も起こらない現状にいても立ってもいられなくなつて、誰かが何かしなくてはと思い、私がやればいいじゃないかと考えました。「よし、やってみよう。うまくいかないかもしれないけれど」と心の中で言い、とにかく座りこみをしました。

そうしたら、事はどんどん大きくなっていきました。

——最初にあなたに注目したのは、どこでしたか？ ご自分の活動に、どうやって注目を集めることができたのですか？

さあ、わかりません。学校ストライキを始めたとき、私は最初に、学校ストライキをしていることをツイッターで発信しました。それが大勢の人に拡散していったら、数人のジャーナリストがやってきて、座っている私にインタビューをするようになりました。そのあとジャーナリストが次々と来るようになって、私のストライキはスウェーデン中に知られるようになりました。口コミで広がっていったんです。すると、私といっしょに座りこむ人が現れました。ストライキを始めて早くも二日目に仲間がひとり現れ、そのあと増えていきました。

本当にすごいなって思いました。みなさんにもぜひ、この感覚を味わってほしい。世の中を変える力が本当にあるんだという、この感覚を。いつだって、最初の一步は一番つらいです。でも最初の一步さえ踏みだせば、じきに運動を起こせるんです。

私のストライキはスウェーデン国内の他の都市へと広がり、他の国々へ、他の大陸へと広